令和5年度第2回寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 会議記録

■ 日 時:令和6年2月21日(水) 午後3時~午後4時47分

■ 場 所:寝屋川市役所 議会棟4階 第一委員会室

■ 出席委員(9名)

副委員長 土山 希美枝

委員 西尾 晴雄

委員 松下 隆一

委員 谷本 雅洋

委員 山下 洋介

委員 小西 雅晴

委員 横田 剛

委員 池田 信幸

委員 田村 匡

■ 欠席委員(1名)

委員長 中川 幾郎

■ 出席事務局職員

理事兼経営企画部長 荒木 和美

経営企画部次長兼企画一課長 妹尾 直人

経営企画部企画一課係長 竹中 理恵

経営企画部企画一課係長 髙島 幸二

経営企画部企画一課 植村 仁美

■ 案 件:

1 第2期市総合戦略の確認

事務局から「〔資料〕第2期市総合戦略 令和6年度~令和9年度〈令和6年度版〉【案】」「〔参考1〕令和5年度における第2期市総合戦略の達成状況について〈実績見込値(令和5年10月31日現在)〉」に基づき説明を行った。委員からの意見は次のとおりであった。

≪委員からの主な意見≫

○ 金融機関と連携し、「寝屋川空き家流通推進プラットホーム」を積極

的に活用することで、より積極的な事業展開ができる可能性がある。

- 不動産登記法の改正は、寝屋川空き家流通推進プラットホーム活性 化の後押しになる。固定資産税の納税通知書に同封する空き家に関す るチラシには、プラットフォームのことに加え、その旨も記載するこ とが必要と考える。
- 創業に対する意欲は、金融機関への相談状況としては、コロナ禍を 好機と捉え高まっている印象がある。

産業競争力強化法に基づき作成した創業支援の計画に係るネット ワーク会議を開催し、各機関の情報を共有することで、伴走型の創業 支援も可能となり、数値目標の達成にも資すると考える。

- 就労支援や福祉について、市全体として多面的に実施することや、 その可視化が重要である。
- 男性育児休業の取得推進の義務化など社会状況が変わりつつあるものの、実態的には女性を念頭においた育児支援が一般的である中、男性の子育てと就労との両立にも目を向けていくことが必要である。その際には、時間や場所の制約を受けるイメージがある就労について、時間に縛られない在宅ワークとのマッチングを進めていくことが重要である。
- 趣味の延長や、子育で前に携わっていた仕事や技術をいかした、在宅での創業によって、子育でと両立しながら収入を得るといったことについて支援を打ち出すことで、「寝屋川市に住む」という機運も高まるのではないか。
- ねやがわシティ・ステーションで行う「地域就労支援センター」と 併設する「ハローワーク枚方職業紹介コーナー」、産業振興センターで 行う「就職面接会」、リラットで行う「出張マザーズコーナー」をセッ トで打ち出すことでより相乗効果が得られ、進捗管理指標の目標値達 成にも資すると考える。
- 使用期限を迎える備蓄品について、使用期限前に貧困家庭の子ども に提供するなどの仕組みがあれば、備蓄品を有効活用できると考える。
- 令和6年能登半島地震では、多くの示唆があった。自助と公助の在 り方を検証することも必要ではないか。

- 建築物等の耐震化の推進について、店舗等の建築物も視野に入れて、 事業を展開してほしい。
- 防犯カメラの設置について、今後も、地域の要望に応じて増設して ほしい。
- 防犯委員の担い手不足や高齢化が進む中、夜間の防犯活動に不安を 感じており、警備委託による夜間の防犯パトロール実施は助かってお り、引き続き進めてもらえればと思う。
- 南寝屋川公園リニューアルに向けたアンケート調査を実施しているが、災害拠点としての活用も期待する。
- 特に、「防災・防犯」「空き家」「就労・創業支援」に関して、関係機関・団体との「連携」は、実際に事業を実施する上では大変重要である。
- 市と連携し、店内に市PRコーナーを作り、「寝屋川市ガイドブック 「寝屋川移住計画」」を設置しているが、内容が古くなったきたと感じ ている。
- 恒常的な残業がある場合は人を雇う必要があると感じており、令和 6年度から長期の育児休業者の職員補充について、これまでの非常勤 職員による対応から正規職員を配置する新たな育児制度は大変良い 取組だと思う。
- 寝屋川教育(施設一体型小中一貫校)が、ニュースとして放送されていた。あのようなニュースを見て本市に移住したいと思う人が増えればよいと思う。

2 その他

事務局から「〔参考2〕市の人口の状況について」に基づき説明を行った。

■ 資料:

- · [資料] 第2期市総合戦略 令和6年度~令和9年度〈令和6年度版〉【案】
- ・〔参考1〕令和5年度における第2期市総合戦略の達成状況について〈実績見 込値(令和5年10月31日現在)〉
- ・「参考2〕市の人口の状況について